

モジュール16 公的評価と「創作一本」のキャリア自立戦略

【テーマ】

「文化の継承者」としての自立：戦略的な商品設計と資産管理で、一生続く表現の道を確立する

【Q1：意識の書き換え（AIワーク1：高単価商品と入口商品の企画を受けて）】

AIは、あなたの「竹（メイン作品）」に加え、コレクター向けの「松（高単価商品）」と、ファン層を広げるための「梅（入口商品）」の企画・価格案を提示しました。

- これまで価格設定を「自分の作品にそんな価値があるのか」という不安や、単なる「制作時間の切り売り」だと思い込んでいませんか？AIが提示した「戦略的な商品ラインナップ」を見て、それが単なる金銭の授受ではなく、「ファンの熱量に応じた価値の選択肢」を提供することだと捉え直したとき、明日からの販売活動に対する「プロとしての誇り」はどう変化しますか？才能に頼る販売から「経営的な商品設計」への転換を、具体的に書き出してください。

【Q2：価値の客観視（AIワーク2：アーカイブ管理のスプレッドシート設計を受けて）】

AIは、美術館の学芸員が作品を永久保存するように、あなたの全作品を「資産」として管理するための、網羅的なアーカイブ管理項目をリストアップしました。

- 自分の作品を、単なる「売れて終わりの商品」ではなく、歴史に刻まれるべき「文化的資産」として管理するという視点を得たとき、あなたの制作や作品の取り扱いに対する責任感はどう変化しましたか？

- 「学芸員の審美眼」を持って、自分の歩みを客観的に「構造化」して遺していくことは、アートに詳しくない一般のファンに対しても、あなたの「プロとしての信頼（軸）」をどう強化すると確信していますか？

【Q3：社会的貢献の設計（AIワーク3：SEOを意識したHPプロフィールのリライトを受けて）】

AIは、あなたのプロフィールを検索エンジン（SEO）に最適化し、「地域名」「独自の技法」「ワークショップ」などのキーワードを用いて、社会から見出されるための文章にリライトしました。

- 「自分を表現すること」だけを目的とした文章から、社会のニーズと接続され、「必要としている人に届くための文脈（コンテキスト）」を整えた文章に変化したとき、あなたのプロフィールはどのような「希望」を誰に届けていると感じますか？

- プロとして自立し、適切な言葉で社会と繋がることは、あなた自身の成功を超えて、地域文化やアートを愛する人々にどのような「精神的な豊かさ」を提供することになると確信していますか？「自分が稼ぐこと」のその先にある、あなたにしかできない役割を記述してください。

【本日のプロフェッショナル宣言】

全16モジュールの学びと、自立した未来の自分を想像して、あなたが「一生、プロとして表現し続ける」ために守り抜くと決めた信念を清書してください。

「私は、学芸員視点の（ ）を磨き、自らの表現を通じて（ ）という価値を、次世代や社会へ遺し続けることを誓います」